

りんごの樹通信

Special Edition

出張レッスン&お散歩代行ブログ

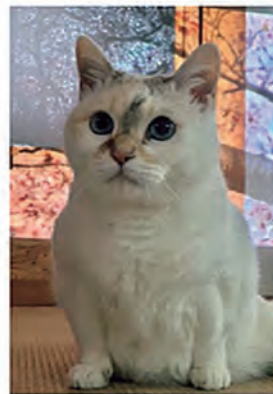
Ringonoki News

春の健康診断キャンペーン始まりました!

Spring
April
2024.04

春の写真展 開催中!

(会場:第二待合室)



information

トリミングルームEPLERよりお知らせ

指名料導入制度のお知らせ

在籍トリマーのキャリアを考慮し、4月1日より指名料を施術料金に追加させて頂く事となりました。

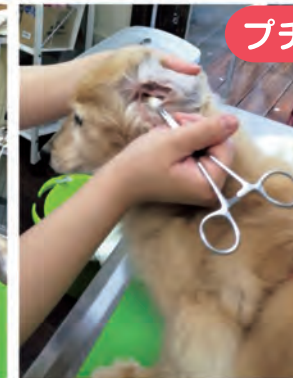
指名料は、清水・木村・稲垣を指名の場合、1頭につき1,100円(税込)となります。

ご理解頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。
今年から新しいスタッフが2名加わりました!
どうぞよろしくお願い致します



【爪切り・肛門腺絞り・耳掃除・足裏の毛刈り・目周りのカット・汚れやすい部分的なカットなど】

プチトリミングご利用ください!!



ご自宅で出来ないお手入れや次のトリミングまでの部分的なお手入れをしたい時などにぜひご利用ください。

診察の合間に希望される場合はお声がけください。事前にご相談やご連絡を下されるとスムーズです(^ ^)

LINEからも →
ご予約できます。



りんごの樹動物病院

診察時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前9時~12時	○	○	○	○	○	○	午前10:00 ~12:00	○
午後1時~4時	○	○	○	○	○	○	×	○
午後5時~9時	○	○	○	○	○	○	午後4:00 ~7:00	○

※緊急の場合は上記にあらず ※お盆、年末年始は日曜日の診察時間に準じます

午前9時~午後7時	事前予約可能	初診料	2,200円(税込)
		再診料	1,100円(税込)
午後7時~午後9時	来院順診療	初診料	3,300円(税込)
		再診料	2,200円(税込)

【初診】
①新規の方
②新しい病気の方
③同じ病気で前回受診から3ヶ月以上経っている方
【再診】
○同じ病気で前回受診から3ヶ月以内の方

診察受付は診察終了30分前までにお済ませ下さい。

ご予約・ご相談
(0566) 79-2211

救急・時間外
(0566) 79-2299

トリミング直通
(0566) 79-2929

ホームページ www.2211.cc

LINE
のお友達登録はこちら



血液型

皆さんは、愛犬、愛猫が万が一病気や怪我、事故などで輸血が必要になってしまう、なんてことを想像されたことがあるでしょうか？

輸血が必要になったときには、献血ドナーの子を探しだし、血液を分けてもらいます。人と異なり、動物達には血液バンクが存在しません。

当院では迅速に輸血の対応を可能にするために、血液を保存出来るシステムを構築いたしました。

昨年、当院には血液の保存を可能にする高速冷却遠心分離機と超低温冷凍庫が導入されました(写真③④)。これにより、輸血をするときに慌ててドナーの子を探したり、ドナーの子とご家族に緊急で駆けつけてもらう、ということ減らすことが出来ます。

また、輸血をする時に調べないといけない大事なことが血液型と血液交差試験(血液の相性)です。人と同様にワンちゃん、ネコちゃんにも血液型があります。緊急時に慌てないように大事な我が子の血液型を調べておきませんか？血液型を調べるのに必要な血液は少量なので、健康診断やフィラリア検査と同時に実施することが出来ます。

体調がすごく悪い状態での血液型検査はエラーが出ることもありますので、体調の整っている今のうちに調べておくことをオススメします。

獣医師:加藤 奈央



proBNP

猫ちゃんの心臓病は初期段階で症状が出ないことも多く、症状が出た時には病気が進行していることが少なくありません。そのため病気を早期に発見し、治療することが重要になります。

心臓病の診断に欠かせない検査として心エコー検査がありますが、検査を実施するには猫ちゃんに少なくとも数分間、横になって動かずにいてもらう必要があります。じっとして抑えられるのが苦手な子にはストレスになるかもしれません。proBNP(写真⑤)は心筋に負担がかかったときに放出される心臓のバイオマーカー(病気の目印)です。血液検査で簡単に測定でき、猫ちゃんの心臓病の早期発見に有用です。3滴の血液があれば測定出来ますので、健康診断の追加項目として心臓病のチェックをしてみるのはいかがでしょうか？

獣医師:照喜名 弘樹



ご希望の方、ご相談のある方は、スタッフまでお声がけください。

予告

ご期待ください。

「彩友子のRabbit corner」次号連載スタート

獣医師山下がエキゾチックアニマル愛を炸裂(!?)ミニコラムをスタート!

イラスト:獣医師山下彩友子



春の健康診断キャンペーン

始まりました!

暖かくなってきましたね。
新生活をスタートされた方、おめでとうございます!
今年度も当院では、大事な家族と過ごす時間が
幸せになります様に、という願いを込めて
春の健診キャンペーンをご用意しました。



健康診断コース

今年度は通常の健診A、健診B、健診Cに加え、オプションとして追加可能な、CT検査、血圧測定、血液型検査、proBNPの4つをご用意いたしました。
馴染みのない検査もあるかと思うので、解説をしていきます。今回は獣医師がそれぞれの検査について特徴などを説明しております。

- 健診A 身体一般検査、血液検査
- 健診B 健診A+胸部レントゲン検査、腹部超音波検査
- 健診C 健診B+心臓、甲状腺、検便、検尿
- オプション CT検査、血圧測定、血液型検査、proBNP

オプション

CT

当院では、健康診断のオプションとして、CT検査(写真①)を実施しています。

CT検査は、非常に小さい病変まで検出することが可能であり、病気の早期発見につながります。また、当院では、撮影したCT画像を外部の検査機関(画像検査の専門の方々)に提出し、正確な評価を行っております。

動物医療の場合、CT検査は、基本的に全身麻酔下で行います。CT検査時の全身麻酔の体への負担は、手術などと比較すると小さいものと考えられています(もちろん麻酔をかけられるかどうかについては、麻酔前に各検査を行い、確認します)。

病気の早期発見に努め、健康な日々を送りましょう!



血圧測定

獣医師:武藤 史和

皆さんはご自身の血圧を測定した事がありますか？

お子さんや若い年齢でも病院や健康ランドなど、一般の施設でいつでも測定が出来、特に高齢になってくると定期的に血圧測定をされているかと思います。

わんちゃん、ねこちゃんも特に高齢になると、気付かない間に高血圧になる事があります。

人間とは少し違う病気で血圧が上がる事がありますが、私達と同じで、高血圧は体の様々な臓器に障害を与えます。

高血圧は知らない間に進行し、突然目が見えなくなってしまう事もあります。またホルモンの病気が隠れている事もあり、発見が遅れると突然亡くなってしまう、なんて事も...

人間と違って毛が深い為(特に柴ちゃんや長毛の猫ちゃんなど)や、病院での緊張などで高くなる事が多い為、正確な測定は難しい事もありますが、数回測定する事で病気の早期発見につながったり、大変な値であるかの確認が出来ます。

今後病気の発見や、年を重ねた時の比較の為にも、今回はオプション検査として追加されました。

人間と同じで、腕や尻尾にカフを巻くだけ(写真②)なので、痛い事も無く、麻酔もいりません。

大事な家族の為に、また高齢化しているわんちゃん猫ちゃんの為に、測定してみたいいかがでしょうか。

獣医師:山下 彩友子



血圧正常値

人間 85-130mmHg
犬・猫 60-150mmHg